

標準委員会 第32回リスク専門部会議事録

1. 日 時 2014年11月28日（金） 14:30～16:30

2. 場 所 5 東洋海事ビル A+B 会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員）山口部会長，成宮幹事，青木，阿部，桐本，倉本，曾根田，武部，藤井，松本，丸山，村田，山中，吉田（14名）

（代理出席者（委員））糸井達哉（東京大学／高田代理），関沢和広（中部電力（株）／竹山代理），栗坂健一（（独）日本原子力研究開発機構／野中代理），杉山直紀（（株）三菱総研／北村代理），岡崎利彦（日本原子力発電（株）／鈴木代理）（5名）

（欠席委員）岡本，Woody，北村，越塚，山岸（5名）

（常時参加者）野村（1名）

（欠席常時参加者）上田，堀田，（2名）

（オブザーバ）奥野貴裕（電源開発（株））（1名）

（事務局）中越，谷井（2名）

4. 配付資料

RKTC32-1	第30回リスク専門部会 議事録（案）
RKTC32-2	人事について
RKTC32-3	PRA パラメータ標準改定に関する中間報告
RKTC32-4	レベル2PRA 分科会の活動方針について
RKTC32-5	レベル3PRA 標準の改定について
RKTC32-6	外的事象 PRA 分科会の設置について
RKTC32-7	リスク専門部会標準策定スケジュール（案）
RKTC32-8	分科会の活動状況について

参考資料

RKTC32-参考1 リスク専門部会委員名簿

RKTC32-参考2 標準委員会の活動状況

RKTC32-参考3 第10回 PRA 活用検討タスク 議事録

5. 議事内容

議事に先立ち，事務局から開始時点で委員24名中，代理委員を含めて19名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（16名）を満足している旨，報告された。

(1) 前回議事録（案）の確認（RKTC32-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

(2) 人事について（RKTC32-2）

RKTC32-2に基づいて，専門部会及び分科会の人事について以下のとおり審議を行った。

【リスク専門部会人事】

専門部会での人事について以下の提案があった。

①委員退任の確認

野中 信之（日本原子力研究開発機構）

②委員選任の決議

栗坂 健一（日本原子力研究開発機構）

橋本 和典（原子力安全推進協会）（火災 PRA 分科会代表として）

③委員再任の承認

山本 章夫（名古屋大学）

高田 毅士（東京大学）

丸山 結（日本原子力研究開発機構）

審議の結果、上記案について確認、決議又は承認された。

但し、配付した資料では藤井委員の再任を記載していたが、任期末の 2015 年 1 月末時点で退任することが判明したため、藤井委員の再任の記載を削除した内容を正とする。

【分科会】

分科会での人事について以下の提案があった。

①主査選任の承認

核燃料施設リスク評価分科会

主査：村松 健（東京都市大学）

②委員退任の確認

レベル 3PRA 分科会

山本 一英（（有）ワイファースト）

内藤 真（（株）東芝）

大森 利和（日本原子力発電（株））

甲斐 倫明（大分県立看護科学大学）

佐藤 憲一（（株）日立製作所）

杉浦 紳之（近畿大学）

武智 義典（三菱重工業（株））

田南 達也（東京電力（株））

外川 織彦（（独）日本原子力研究開発機構）

富田 賢一（（株）ガイジナルインフォメーションセンター）

廣川 直機（（株）テプコシステムズ）

山本 一英（（有）ワイファースト）

米原 英典（（独）放射線医学総合研究所）

梶本 光廣（（独）原子力安全基盤機構）

種村 統令（（独）原子力安全基盤機構）

舟山 京子（（独）原子力安全基盤機構）

③委員選任の承認

核燃料施設リスク評価分科会

橋本 和典（原子力安全推進協会）

レベル 3PRA 分科会

飯本 武志 (東京大学)
伊藤 博英 (日本原子力発電 (株))
小倉 克規 (電力中央研究所)
木村 仁宣 ((独) 日本原子力研究開発機構)
田中 治邦 (日本原燃 (株))
田原 美香 ((株)東芝)
橋本 和典 (原子力安全推進協会)
堀 英一 (三菱重工業 (株))
湊 博一 (日立GEニュークリア・エナジー(株))
向原 民 ((株) テプコシステムズ)
山中 康慎 (東京電力 (株))
横山 須美 (藤田保健衛生大学)
龍福 進 ((株) ウィンダブルインフォメーションセンター)

④ 常時参加者登録の確認

レベル 2PRA 分科会

萩野 隆憲 (四国電力株式会社)

レベル 3PRA 分科会

武田 直也 (関西電力 (株))
舟山 京子 (原子力規制庁)
鈴木ちひろ (原子力規制庁)
中村 康一 (電力中央研究所)
野村 治宏 (関西電力 (株))
武部 和巳 (日本原燃 (株))
高原 省五 ((独) 日本原子力研究開発機構)

核燃料施設リスク評価分科会

内山 軍蔵 ((独) 日本原子力研究開発機構)
河野 卓矢 (三菱重工業(株))
高梨光博 (原子力規制庁)
寺山 弘道 (三菱原子燃料(株))
松岡 伸吾 (日本原燃(株))
松村 歩 ((株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)
吉田 初美 (原子力規制庁)

⑤ 常時参加者登録解除の確認

レベル 1PRA 分科会

小倉 克規 (電力中央研究所)

審議の結果、上記案について全て承認又は確認された。

(3) 【報告】 PRA パラメータ標準改定に関する中間報告 (RKTC32-3)

L1PRA 分科会の桐本副主査から RKTC32-3 に基づいて標準“原子力発電所の確率論的リスク評価用のパラメータ推定に関する実施基準：201X” 標準の改定について中間報告があ

った。主な質疑は以下のとおり。

Q：ASME との比較表で連続故障の規定があるが、具体的な定義は。

A：故障後、一旦回復するものの根本原因が修正されないまま続けて故障しそれが複数の故障事象として報告される状況を指す。改定前から附属書に留意事項として記載はしていたが、規定として明記した。

Q：記載を追加するパラメータについて L2PRA から回答はあったか。

A：内部火災，内部溢水 PRA 以外は今回特になし。今回はインターフェースについて不要と認識している。

C：関連分科会は今後もパラメータ標準に扱うべき事項がある場合は、専門部会に上程してほしい。パラメータ標準改訂版の書面投票後も、今後も確認作業は各分科会で継続願いたい。

Q：内部火災発生頻度は、火災規模はどう扱っているか。

A：現在のパラメータ推定の対象は発生頻度の推定方法のみである。規模の分類については火災 PRA のモデル側に取り扱われる。

C：専門部会で「外部ハザードに対するリスク評価方法の選定に関する実施基準」を制定しており、外部ハザードの発生頻度が扱われている。今回の分科会レベルでの確認作業で漏れがおこる事が無いように、必要に応じて今後も L1PRA 分科会に検討を依頼するものとする。

C：OECD/NEA の文献についてリファレンスから除外する理由として DB のアクセス制限が挙げられているが、文献の所在を示すだけでも有用であるため、その要否を審議願いたい。

(4) 【報告】 レベル 2PRA 分科会の活動方針について (RKTC32-4)

レベル 2PRA 分科会の野村常時参加者から RKTC32-4 に基づいてレベル 2PRA 分科会の活動方針について報告があった。特に質疑はなく、レベル 2PRA 分科会方針及び今般のレベル 2PRA 標準改定作業方針が了承された。

(5) 【報告】 レベル 3PRA 標準の改定について (RKTC32-5)

レベル 3PRA 分科会の成宮幹事から RKTC32-5 に基づいて標準“原子力発電所の確率論的安全評価に関する実施基準”の改定について報告があった。検討や進め方に関する大きなコメントはなく、報告のとおり標準改定作業を進めることとなった。その他主な質疑は以下のとおり。

C：レベル 3PRA 標準に対して、社会的注目度も大きい。防災との関係や社会的影響を考慮すると、議論に時間がかかっても仕方ない。

Q：元々レベル 3PRA コードでは、社会的影響の計算が入っているのか。

A：元々コードでは計算できるようになっている。しかし、入力の設定をどうするか問題がある。

C：社会的影響は重要でないわけではないが、「定量的」ということが十分議論されてきていない。データ、バックグラウンドの基盤があるわけではなく、人材がないのも承知しているが、専門部会としては手厚くしていきたいところである。

(6) 【報告】 外的事象 PRA 分科会の設置について (RKTC32-6)

成宮専門部会幹事から RKTC32-6 に基づいて外的事象 PRA 分科会の設置について報告が

あった。大きなコメントはなく、3月のリスク専門部会で外的事象 PRA 分科会設置を提案する方向で準備を進めることとなった。また、リスク情報活用ガイドライン分科会と PRA 品質確保分科会の統合についても、次回または次々回を目途に準備を進めることとなった。

(7) 【報告】 リスク専門部会標準策定スケジュール (RKTC32-7)

成宮専門部会幹事から RKTC32-7 に基づいてリスク専門部会標準策定スケジュールについて報告があった。主な質疑は以下のとおり。

Q：現在は標準毎に線を引いているが、分科会毎に線を引く方が、専門部会、各分科会が計画的に標準策定に取り組んでいる様子が見えていいのではないか。

A：拝承。その通り修正する。

(8) その他

- ・“分科会活動状況” に新設した“核燃料施設リスク評価分科会”を今後、追記する。
- ・次回のリスク専門部会は、2015年3月5日(木) 13:30からの開催となった。

以上